

第2部 副実行委員長のあいさつ

大園 日和里（大原中卒業）



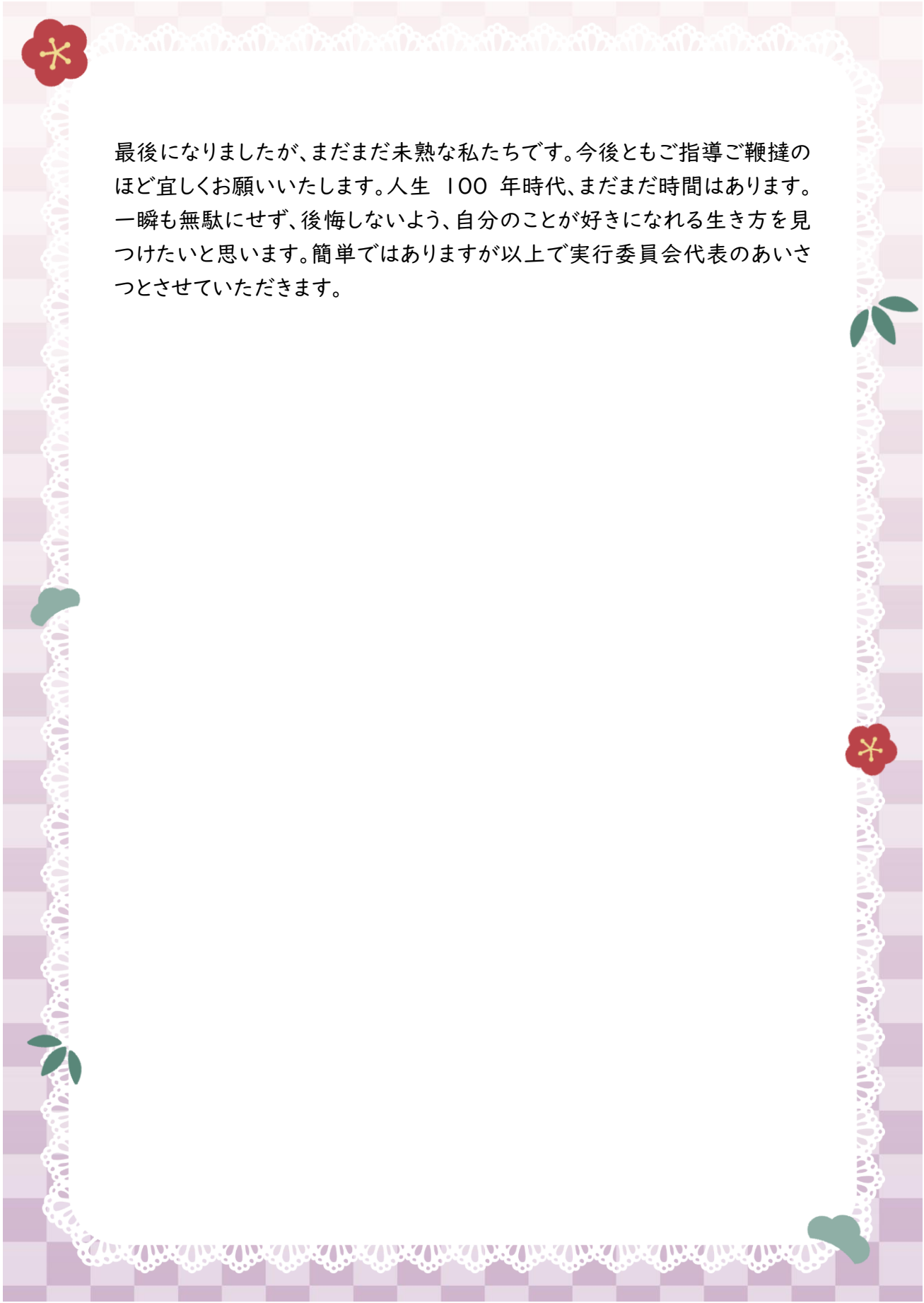
皆さんこんにちは。実行委員会代表、大原中学校区の大園日和里です。本日はコロナ禍という大変な状況下でありながら、成人となり二十歳を迎えた私たちの門出に対し、このような式典を開催していただき、誠にありがとうございます。

二十歳のつどいを迎えた今日、地元の仲間と再会し、小学校、中学校時代がとても懐かしく思われます。あの頃は早く大人になりたい、大人は宿題が無いから羨ましいと口を揃えて言っていましたね。私たちは成人となり二十歳を迎えました。大人になった実感はあるでしょうか。義務教育時代に帰りたと思いますか。

現在、私は大学で医療職を目指し勉強しています。新型コロナウイルスの影響により注目されており、需要が高まっている分野であります。多くのことを学び、医療を提供する側として、多方面から地域に貢献できるように努力していきたいと考えております。

新型コロナウイルスといえば3年前、順調に高校生活を送り、終盤を迎えていた頃、パンデミックが発生しました。先も見えない恐怖と戦う日々が始まったのです。消えた試合、消えた学校行事、カメラロールにはマスク顔の写真ばかり。かつての日常がどれだけ幸せで貴重だったのか私たちは知ることが出来ました。

こうした時代の変化に対応するためにも、これからも生涯にわたって学び続け、そこから様々なことを吸収して、それぞれのステージで活躍をしていきたいと思えます。私たちの持つ若さは強みであり、何ものにも代えがたい財産です。今しかできないこと、今だからこそできることに積極果敢にチャレンジし、自らの力を信じて、コロナ禍をはじめとする変革の時代をしっかりと乗り越えていきたいと思えます。



最後になりましたが、まだまだ未熟な私たちです。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。人生 100 年時代、まだまだ時間はあります。一瞬も無駄にせず、後悔しないよう、自分のことが好きになれる生き方を見つけたいと思います。簡単ではありますが以上で実行委員会代表のあいさつとさせていただきます。

第2部 二十歳代表のあいさつ

永野 俊祐（立石中卒業）

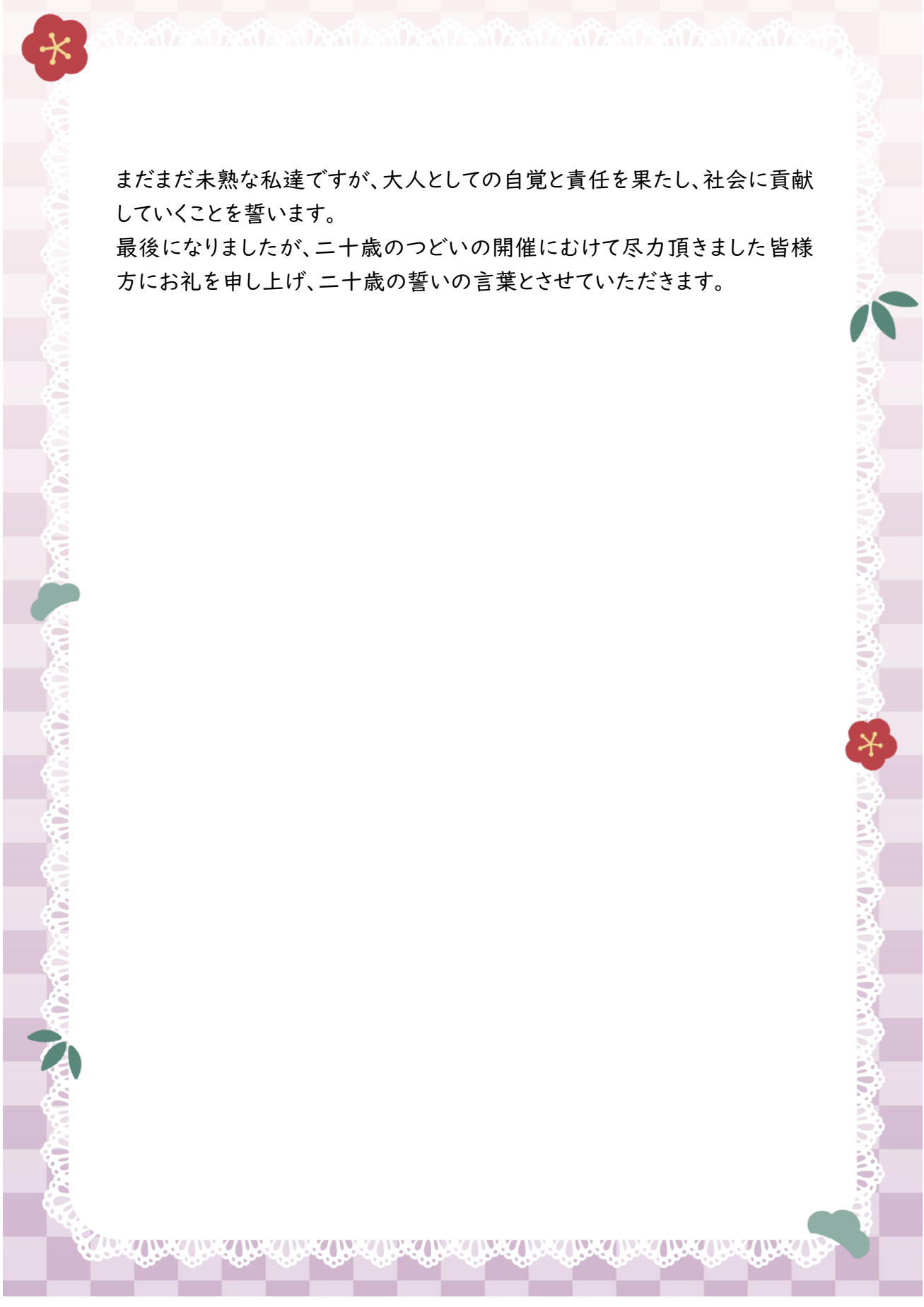


本日は、成人となり二十歳を迎えた私たちの門出に際し、このような式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、今なお新型コロナウイルスの影響を受ける中、開催に向け尽力していただいた多くの皆様に、二十歳を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

私たちは、今日晴れて成人となり二十歳としての門出を迎えることができました。この素晴らしい日を迎える事ができたのも共に支え合ってきた仲間、私たちを暖かく見守ってくださった地域の方々、叱咤激励してくれた先生方、そして誰よりも深い愛情を注いで育ててくれた両親のおかげでこの日を迎える事ができました。また、昨今のコロナウイルス感染症と闘っておられる方々にお見舞い申し上げると共に、医療従事者をはじめとする多くの方々のご苦勞に深く感謝申し上げます。

突然ですが、私の夢は箱根駅伝を出走した経験や学んだ事を通して指導を行い一人でも多く箱根駅伝への素晴らしさ、面白さを感じてもらいたいと思い、現在関東の大学で日々部活動と勉強の両立をしています。私が箱根駅伝をめざしたきっかけは、中学生の頃から毎年の様に箱根駅伝を見て選手方が必死な想いで襷をつなぐ姿や、優勝する姿に「カッコいい」、「絶対走る」と思ったからです。箱根駅伝出走はそう簡単な事では無く部員60名の中から当日10名しか出走できないため毎日が競争の様なものですが自分の夢のために4年間でしかチャレンジできない事なので諦めずに頑張ろうと思います。

私の好きな言葉に、「夢なき者に成功なし」という言葉があります。夢がなければ人は未来に向かって進むことはできません。コロナ禍であっても夢を忘れず歩んでいきたいと思っています。



まだまだ未熟な私達ですが、大人としての自覚と責任を果たし、社会に貢献
していくことを誓います。

最後になりましたが、二十歳のつどいの開催におかれて尽力頂きました皆様
方にお礼を申し上げ、二十歳の誓いの言葉とさせていただきます。

第2部 二十歳代表のあいさつ



山川 玲奈（小郡中卒業）



本日は私たちの為にこのような盛大な式典を開催していただき誠にありがとうございます。二十歳のつどいで、こうしてともに学生時代を過ごした仲間と再会することができ、大変うれしく思っております。市長を始め、ご来賓の皆様、ご出席いただきました皆様、二十歳を代表致しまして心よりお礼申し上げます。


これまでの人生を振り返り私が今感じることは今までに出会った多くの方への感謝の気持ちです。わが子のように接し、時に優しく、時には厳しく指導していただいた地域の皆様方や先生方、そばで温かく成長を見守りつづけてくださった家族、成人となり二十歳を迎えた私たち一同、感謝の気持ちでいっぱいです。特に私は様々な事に挑戦する中で両親にたくさんサポートと、様々な経験をさせて頂きました。これまでの経験が私自身の成長につながっていると強く実感しています。たくさんの方々のおかげで私はいま二十歳という節目を迎え、この場に立つことができていることを改めて感じ、これまでの二十年間にかかわっていただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

私は現在、一大学生として学業に取り組みながら部活動や学生団体、アルバイトに取り組んでいます。その中で大人の方と対等に接する機会が増え、全ての行動に責任が伴うようになりました。これが大人になることの一つであると感じ、それと同時に己の未熟さを痛感しております。様々な分野で活躍される方々と関わり、お話を伺う中で、今後社会に出て働いていく上で大切なことや必要なことを学ばせていただいています。その中でよく言われるのが情報の取捨選択です。特に私たちはコロナウイルスや大学受験での共通テストなどに関してたくさんの情報が飛び交い翻弄されることが多くありました。



そんな情報社会の中でいかに正しい情報を集め、自分の中で整理し理解するか、難しいことではありますが今後の社会で生きていく上で大変重要なことであると思っています。まだまだ未熟なため厳しいお言葉をいただくこともあります。これからは人生における諸先輩方から様々な事を学び吸収し、未熟ながらも社会に出て恥じぬように真摯に学び取り組んでまいります。

私たちの中にはすでに社会に出て働いている者、学業に励んでいる者と、一人一人が別々の道を歩んでいます。しかし、誰もが社会の中で自分の力を役に立てていきたいという思いを持っていることは間違いありません。一つ一つの活動が社会の中でほんの少しですが役に立っているという思いを持つとともに、これまでお世話になった社会への恩返しが少ないからできていたのだと思うと大変うれしく思います。



二十歳という節目の年を迎えることとなった私たちではありますが、まだまだ未熟だと日々痛感しております。これからは一人の大人として認められるように日々精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

簡単ではございますが、以上で二十歳代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

